

ウイルス対策に!

銀イオンがもたらす除菌・抗菌効果

メディカル・エイド株式会社

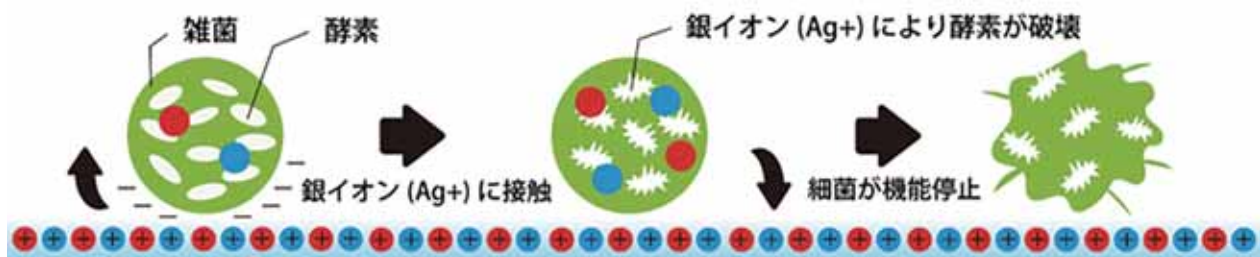
銀イオンの除菌・抗菌原理

酸素と乖離(かいり)して生じる銀イオンは不安定な状況(プラスに帯電 Ag^+)にある為、微生物菌(マイナスに帯電)の酸素と結びつこうとして微生物の細胞壁に付着し、細胞壁が破壊されて死滅(殺菌作用)します。

また、細胞壁が強い微生物は細胞壁は破壊されませんが、プラスイオンが細胞壁に付着されてしまうとタンパク合成の阻害を起こし分裂できなくなってしまう、微生物は動けなくなり増えることもできません。これが抗菌(静菌作用)効果です。

微生物の状態や銀イオンの濃度の状態によっては、「静菌作用」にも「殺菌作用」にもなります。

さらに、銀イオン(Ag^+)は触媒として水をヒドロキシラジカルと水素ラジカルに分解し、そのヒドロキシラジカルがウイルスや菌の中に取り込まれることによって細胞壁を破壊します。したがって幅広いウイルスや菌に対して殺菌や抗菌効果を期待できます。



銀イオンの消臭効果

銀イオンは雑菌の増殖を防ぐので、雑菌による腐敗臭を抑止します。

さらにマイナスに帯電した悪臭分子を吸着することによって、酸化分解で汗腺・皮脂線からの悪臭分子と細菌の増殖が原因で発生する体臭も抑止します。

